

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
専門学校 水戸ビューティカレッジ		平成15年3月25日		八文字 典昭		〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-14-14 (電話) 029-228-2188																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人八文字学園		昭和57年4月1日		八文字 蓉子		〒310-0812 茨城県水戸市浜田 2-11-18 (電話) 029-221-8771																							
分野	認定課程名		認定学科名			専門士	高度専門士																						
衛生	衛生専門課程		総合ビューティ学科			平成17年文部科学省 告示第30号	---																						
学科の目的	トータルビューティを基本理念として、美容師(美容業)のサロンワークに必要な技術や知識、又エステ、ネイル、メイク等も総合的に学習し、即戦力の人材育成を目指す。																												
認定年月日	平成 26年 3月 31日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	単位時間																					
2年	昼間	2160時間	936時間	--	1224時間	--	--																						
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																								
80人	39人	0人	15人	10人	25人																								
学期制度	■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験による点数評価及び課題提出物の評価																								
長期休み	■学年始: 4月1日～4月9日 ■夏季: 7月25日～8月25日 ■冬季: 12月23日～1月7日 ■学年末: 3月25日～3月31日			卒業・進級 条件	既定の科目及び履修時間をすべて履修すること。 進級時 1080時間 卒業時 2160時間																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者の保護者へ連絡。 学生との個別面談。 保護者、学生との三者面談。			課外活動	■課外活動の種類 日立大道芸フェイスペイントボランティア 献血ルームネイルボランティア 老人ホームメイク、ネイルボランティア ■サークル活動: 無																								
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(平成28年度卒業生) エステサロン、ネイルサロン、化粧品メーカー。 ■就職指導内容 1年次の10月から3月にかけて、校内ガイダンス開催。 就職活動のための資料公開。(求人票、昨年の求人データ等) ■卒業生数 23 人 ■就職希望者数 22 人 ■就職者数 22 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 95.6 % ■その他 ・進学者数: 0人 (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AEA上級エステ検定</td> <td>③</td> <td>20人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>メイク検定 2級</td> <td>③</td> <td>19人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>ジェルネイル検定中級</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>ネイリスト検定2級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	AEA上級エステ検定	③	20人	19人	メイク検定 2級	③	19人	18人	ジェルネイル検定中級	③	4人	4人	ネイリスト検定2級	③	5人	4人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
AEA上級エステ検定	③	20人	19人																										
メイク検定 2級	③	19人	18人																										
ジェルネイル検定中級	③	4人	4人																										
ネイリスト検定2級	③	5人	4人																										
中途退学 の現状	■中途退学者 3 名 ■中退率 2.9 % 平成28年4月1日時点において、在学者39名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者36名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学的主要原因 経済的理由、学習意欲の低下、企業等への就職。 ■中退防止・中退者支援のための取組 学生に対するのカウンセリング。 保護者を交えての三者面談。																												
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 学業特待・資格特待・精勤特待 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																												
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																												
当該学科の ホームページ URL	http://www.mito.ac.jp/beauty/index.html																												

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容業界から、必要とされる実践的な知識及び技術の修得が求められるため、各企業、業界団体と連携し授業に対し、組織的な教育を行うことにより、実務に即した知識や技術の修得が可能となり、即戦力の人材育成となる専修学校専門課程における職業教育の向上につながる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

職業教育の水準の維持向上を目的として、企業、業界団体等と連携し、継続的な教育課程の編成や授業方法等の改善、見直しのための助言等を行うものである。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合 監事	平成25年11月1日～平成30年10月31日	①
堤 圭司	堤美容商事株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～平成30年10月31日	③
今井 孝	タカラベルモント(株)北関東東理美容営業所 所長	平成25年11月1日～平成30年10月31日	③
松井 忠重	(株)ティーエム・プロジェクト 代表取締役	平成25年11月1日～平成30年10月31日	③
八文字 典昭	水戸ビューティカレッジ 学校長	平成25年11月1日～平成30年10月31日	③
谷津 久美子	水戸ビューティカレッジ 美容学科長	平成25年11月1日～平成30年10月31日	③
藤枝 恵子	水戸ビューティカレッジ 総合ビューティ学科長	平成25年11月1日～平成30年10月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役員(1企業や関係施設の役員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

原則として、毎年度8月及び3月に学内で開催するほか、必要に応じて随時開催することとする。

(開催日時)

第1回 平成28年8月29日 14:00～16:00

第2回 平成29年3月24日 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

編成委員会からの提言等に関して、授業及び学生に対する指導力の向上及び就業先に必要とされる実践的な知識や技術の修得に直結するものは、授業科目に反映させ、産学連携としての効果を上げる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業と連携した授業を通して、就業先に必要とされる知識及び技術の向上や適切な判断力、コミュニケーション力を養成し、専門課程における職業教育の向上につなげる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

企業との連携した授業を通じ、知識及び技術の向上の習熟度の成果として、校内コンテスト、美容大会への参加等を行い、その結果を委員会等で報告する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
メイクアップⅠ	メイクアップ概論、ベースメイク等のメイクの基礎知識、基礎技術を修得する。	(株)フォレスト
メイクアップⅡ	ブライダルメイク、映像メイク、イメージメイクなどのメイクの応用からヘアスタイまでの応用知識、応用技術を修得する。	(株)フォレスト
ネイルケアⅠ	ネイル理論やネイルケア、衛生措置などの基礎知識、基礎技術を修得する。	(有)ラルジュ
ネイルケアⅡ	エンボスアート、3Dアートなどのネイルチップの作成をする。卒業制作を行い校内コンテストで発表する。	(有)ラルジュ
エステティック技術	フェイシャル、ボディ、脱毛、カウンセリング、接客対応など基礎から応用までの知識、技術を修得する。	日本エステティック業協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

企業への計画的な研修参加により、担当教員の職業に関連した実務に関する知識、技術の修得が図れ、担当教員の指導力向上による実践的な授業が展開でき、結果的に学生の技術向上につながる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

ラルジュでのネイル技術研修参加。
エステティック技術研修参加。

② 指導力の修得・向上のための研修等

ラルジュでのネイル技術研修参加。
エステティック技術研修参加。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

ラルジュでのネイル技術研修参加。
エステティック技術研修参加。

② 指導力の修得・向上のための研修等

ラルジュでのネイル技術研修参加。
エステティック技術研修参加。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の学校評価は、本校が自らの教育活動、その他の学校運営について、組織的、継続的な改善を図り、その説明責任を果たすこと、及びそれによって、企業等からの理解と参画を得て、その連携協力による教育を推進することにより、職業教育の水準の維持向上が図られることを期して行うものである。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生や各業界団体者の豊富な実務経験を通して、就業先となる美容業界から、美容の仕事をする上で必要な知識、技術等を授業に反映させ、専修学校専門課程における職業教育の向上につなげる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
阿久津 佑介	美容室 フォーリア 店長	平成25年11月1日～平成30年10月31日	卒業生
笹目 千尋	美容室 アクセスムーン	平成25年11月1日～平成30年10月31日	卒業生
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合監事	平成25年11月1日～平成30年10月31日	団体役員
堤 圭司	堤美容商事株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～平成30年10月31日	企業等委員
今井 孝	タカラベルモント(株)北関東東理美容営業所 所長	平成25年11月1日～平成30年10月31日	企業等委員
松井 忠重	(株)ティーエム・プロジェクト 代表取締役	平成25年11月1日～平成30年10月31日	企業等委員
井澤 卓司	(株)水戸警備保障 代表取締役	平成25年11月1日～平成30年10月31日	地域住民
大部 昇	スカイブルー旅行センター(株)代表取締役	平成25年11月1日～平成30年10月31日	地域住民
小林 一弘	美容室 グラウヴ 代表	平成25年11月1日～平成30年10月31日	PTA
市村 一志		平成25年11月1日～平成30年10月31日	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページにて公開。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要
(2) 各学科等の教育	各学科の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	その他の教育活動
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学費
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己点検評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL:<http://www.mito.ac.jp/disclosure/index.html>

授業科目等の概要

(衛生専門課程総合ビューティ学科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			メイクアップⅠ	メイクアップ概論、形態学、色彩、スキンケア、ベースメイク、アイメイク、リップメイクなどの基礎知識を修得する。	1通	180		△		○	○	○	○	○	
○			メイクアップⅡ	イメージメイク、ブライダルメイク、映像メイク、舞台メイクなど応用メイクの知識、技術を修得する。	1通	180		△		○	○	○			
○			ネイルケアⅠ	ネイルケア、カラーリング、フラットアート、リペアなどの基礎知識、技術を修得する。	1通	180		△		○	○	○	○	○	
○			ネイルケアⅡ	アクリルネイル（エンボスアート、3Dアート等）、ジェルネイルの技術を修得し、卒業作品を制作する。	1通	180		△		○	○	○	○	○	
○			エステティック技術Ⅰ	ボディ、フェイシャル、脱毛の基礎知識、接客対応、ボディトリートメント等を修得する。	1通	144		△		○	○	○			○
○			エステティック技術Ⅱ	カウンセリングやエステ機器を使用した、ボディ、フェイシャル等の応用技術を修得する。	1通	144		△		○	○	○			○
○			美容総合技術Ⅰ	まとめ髪、アップスタイル等の基礎技術を修得する。	1通	36				○	○	○			
○			美容総合技術Ⅱ	着付けの身だしなみ、作法等を修得する。	1通	36				○	○	○			
○			衛生管理	衛生、消毒を通して、エステ、メイク、ネイルに関わる消毒方法、感染症などを学習する。	1通	72		○		○		○			
○			美容保健	皮膚科学、解剖生理学、心身生理学などエステ、メイク、ネイルに関する知識を学習する。	1通	36		○		○		○			
○			美容化学	香粧品（原料、基礎香粧品、エステ、メイク、ネイルに関する物）を中心に、知識を学習する。	1通	36		○		○		○			

○		美容文化論Ⅰ	日本や海外の美容ファッションの変遷、流行について学び、また、服飾の歴史、衣服の種類なども学び美容業との関連性を学習する。	1通	72		○			○								
○		美容文化論Ⅱ	日本や海外の美容ファッションの変遷、流行について学び、また、服飾の歴史、衣服の種類なども学び美容業との関連性を学習する。	1通	72		○			○								
○		カラーコーディネートⅠ	色の分類、見え方、感情、色名などの基礎を学習する。	1通	36		○			○								
○		カラーコーディネートⅡ	色の分類、見え方、感情、色名などの応用を学習する。	1通	36		○			○								
○		関係法規	美容業に必要な、法規として、法制度の概要、衛生行政の概要、その他の関連法規について学習する。	1通	36		○			○								
○		ビジネス実務Ⅰ	接遇マナー、コミュニケーション能力、社内・社外文書等社会人として必要なビジネスマナーについて学習する。	1通	72		○			○								
○		ビジネス実務Ⅱ	接遇マナー、コミュニケーション能力、社内・社外文書等社会人として必要なビジネスマナーについて学習する。	1通	72		○			○								
○		美容運営管理Ⅰ	美容師として必要な接客の役割や心構え、マーケティングや経営者として必要な経営管理、労務管理、健康管理を学習する。	1通	72		○			○								
○		美容運営管理Ⅱ	美容師として必要な接客の役割や心構え、マーケティングや経営者として必要な経営管理、労務管理、健康管理を学習する。	1通	72		○			○								
○		簿記会計Ⅰ	簿記の知識について、基礎的内容を中心に、企業の経営活動に伴う財産の変動等を計数的に学習する。	1通	36		○			○								○
○		簿記会計Ⅱ	簿記の知識について、基礎的内容を中心に、企業の経営活動に伴う財産の変動等を計数的に学習する。	1通	36		○			○								○
○		コンピュータⅠ	ワープロソフトを使用して、ビジネス文書の作成から簡単なポスター作成までを学習する。	1通	72					○	○							○
○		コンピュータⅡ	表計算ソフトを使用して、四則演算、関数を用いた演算、グラフの作成などを学習する。	1通	72					○	○							○
○		日本文化Ⅰ	日本髪の種類、特徴を理解させ、その歴史やファッション史についても学習する。また、和服についても着付けを通して、美しさを引き立てるための技術を学習する。	1通	36		○			○								○

○		日本文化Ⅱ	日本髪の種類、特徴を理解させ、その歴史やファッション史についても学習する。また、和服についても着付けを通して、美しさを引き立てるための技術を学習する。	1通	36		○		○	○		
○		社会福祉	社会福祉、社会保障制度、社会福祉と事業の仕組み、社会福祉専門事業者等について学習する。	1通	36		○	△	○		○	
○		ビジネス実務演習	企業から求められる人物像、社会人として身に付けるマナー、知識を中心に、職業観、勤労観を学習する。	1通	36		○		○	○		
○		就職関連知識	就職活動のための、一般常識、履歴書の書き方、面接時のマナー、言葉遣い等を学習する。	1通	36		○		○	○		
合計			29 科目			2160	単位時間(単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：定められた履修時間、2160時間をすべて履修する。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。